

VOICE



挑戦的で独創的な研究者を目指して

天然由来のフラビン化合物（ビタミンB2誘導体）を光触媒とする、環境にやさしい有機合成手法の開発を研究しています。常に最先端の研究を行うことで、従来の反応プロセスを一新するグリーンな反応の開発を行い、社会に貢献できることを目指して研究に取り組んでいます。このプロジェクトの育成生になったことで、異分野の研究者とも共同研究を行うことができるようになったほか、研究費の支給により、研究の充実や拡大が可能となりました。今後は共同研究を積極的に進め、幅広い知識を身につけながら挑戦的で独創的な研究を行ってまいります。

自然科学研究科  
博士後期課程 創成理工学専攻  
自然環境システム科学コース 2年  
岡 真里奈さん



島根県の膵臓がん患者さんに役立つために

膵臓がんは、従来の抗がん治療に対して非常に耐性があるうえ、高齢者に発症する傾向があるため、島根県では膵臓がんの発生頻度が比較的高くなっています。そこで膵臓がんをテーマにペメトレキセドという抗がん剤に焦点を当てた研究を行っています。このプロジェクトを通じて様々な経験を共有することができるほか、様々なキャリア開発トレーニングも受けることができます。今後、日本で就職できるような文化や言語に慣れるよう頑張っていますが、自分の興味や能力、専門知識を生かして、免疫学やがん研究を進展させ、科学を通じた社会への貢献を目指したいです。

医学系研究科 博士課程  
(バングラデシュ出身)  
ホック・マハド・マーブールさん



地域の産業や社会の発展に貢献

▶他者と能力や、▶産学官 協働し、広い視野を持って様々な現場で課題を解決する対応  
研究成果を社会問題解決のために応用・展開できる人材育成  
連携による様々なキャリア支援

トランスファラブルスキル  
養成プログラム

応用・転用可能なスキルを養成

- 短期留学 (Oxford大学他)
- 企業インターンシップ (共同研究他)等

博士後期課程の学生(育成生)



年間最大 12名

💡生活支援金:15万円/月

💡研究費:40~70万円/年

支給期間は最大3年間

研究力養成プログラム

俯瞰性や基礎的な研究力を養成

- 集団指導体制
- 国内外のメンターによる指導等



島根大学では、優秀な博士人材を支援・育成するため「持続可能な社会構築に向けた島根大学高度人材育成プロジェクト」を実施しています。

**地域の産業や社会の発展に貢献する人材を育成**

大学院博士後期課程の学生は、我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う存在ですが、近年、博士後期課程に進学する学生が減少傾向にあります。その原因として、日本では海外の大学に比べて、博士後期課程の学生に対する経済的支援が弱いことが指摘されてきました。この課題を解決するため、そして我が国の科学技術水準を向上させるために求められているのが、優秀な学生を支援・育成

目指しています。

令和3年度は、自然科学研究科5名、総合理工学研究科4名、医学系研究科3名の計12名の学生を選抜しました。環境にやさしい有機合成手法の開発や、がんの予防・治療薬における研究など、地域や日本の課題解決に資する最先端の

することです。

本プロジェクトは、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が公募した「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の事業として採択されたもので、令和3年度から始まりました。

博士後期課程の学生の中から、優秀な学生を育成生として選抜し、経済的支援（年間180万円）と研究費（年間40〜70万円）の支援を行うほか、多様なキャリアパス支援を行います。

研究を支援しています。

5年にわたるプロジェクトにより、博士後期課程への進学を促進するとともに、日本の持続的な社会の構築に向けて、俯瞰的視野から様々な問題を解決するため、先導的な研究や取組を創生できる博士人材の育成を進めていきます。



博士課程の学生を支援・育成するプロジェクトが始動

**JST事業「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に採択**